

# 日本麻將体育協会新聞

編集長：田中実 作成：(有)印刷屋  
「意見」感想は tanaka@jmsa.jpまで

## 第十六回日本選手権

競技麻將第十六回日本選手権が今年も七月十六〜十八日の三日間の日程で日本から六十名、中国から四名の計六十四名にて開催されました。

【全国大会】  
初日です。従来前年度優勝者は二日目からのシード権があるのですが、昨年優勝の山口満選手から「初日から参加したい」という申し出がありましたので六十四名で三十二個の椅子を取り合う純粋な50%通過のシステムとなりました。

歴代優勝者の内田が首位通過を決める中で歴代優勝者の岩沢、高見沢、北浦が次々と敗退してしまふ波乱！  
そしてもっと驚いたのが中国選手四名中三名が敗退してしまふ大波乱。

今年参加の四名は最終日経験のある李選手、金選手、段選手、李選手の奥様で海外大会でも活躍している末選手という何回も日本選手権に出ている実力者ぞろいでしたが通過したのは李選手のみ、それだけ日本選手権出場者のレベルが上がっているということだと思えました。

【トーナメント1】  
ここからはトーナメント戦になり各卓二荘で上位二名通過。  
1卓鈴木の危なげのないゲーム運びの中でオーラスを迎えて高坂、小松、児島のほぼあがれば通過という争いのなか児島の「フー」の音が会場に響きました。

2卓一荘目田中、大堀のあがり合戦に耐える佐藤、二荘目田中、大堀のあがり合戦に耐える土屋、結果耐えた二人は強烈な二人のあがり合いに耐えることしかできなかった。  
3卓一荘目河田の怒涛のあがり一人で天下！二荘目は吉沢、山口、品田手の叩き合いになるかと思つたら品田ではなく河田が参戦！しかし二度の優勝経験のある山口に軍配。

4卓一荘目は手塚のターン！歴代優勝者の清水がどうにか+にこらえ

荘目は一番手で唯一の高田馬場支部柴崎と三日目常連のベテラン田中とのせめぎ合い！しかしこれを制したのは柴崎だった。

### 【準決勝】

1卓序盤から鈴木、辻野のあがり交互に続く。清水、柴崎にはつらい展開で、二回戦の南四局を迎え鈴木+21辻野+95清水 124柴崎 182という状況に、しかし事件が起きた。柴崎の四暗刻が炸裂したのだ！71は79alで西一局を迎えて鈴木+132柴崎+55辻野+16清水 203一気に形勢逆転。この後もせめぎ合いが続きオーラス辻野+31柴崎 3とあがり勝負になり、辻野があがり決着。

2卓こちらは一荘目河田が一人三桁浮き・・・最初から読んでいる人は気づいたかもしれないがトーナメント戦が始まってからの3回全てで河田は初戦に三桁リードを取り安定感のある試合運びをしている。今回も二戦目も+して安定の勝、残りひとつの席を競つのがたつた一人の海外選手李、前日最後の一荘で驚異的な爆発力を見せた岩田、前日千葉支部若手有望株の中野を破つた関西本部若手有望株和田、一荘目終わつて三者の点差は10以内であったのだが、やはり試合巧者というか強さを見せたのが中国の猛者李文龍だった。

【決勝】  
一荘目鈴木が三同順、一色三歩高、三歩高と自模り独壇場に。しかも鈴木はここまでトーナメント3回計六荘で一回もマイナスをしていない。これは鈴木が逃げ切るかと思つたが！ここから驚くべき結果が待っていた。二荘目が始まり七局で河田四回、李二回、辻野一回と鈴木が全くあがれないこの時点で河田が鈴木をかわす！南四局に鈴木があがるが西に入つて李の十三公が炸裂！その直後も二連続であがり三つ巴に、そして今度は西四北二と辻野選手が自模つて北三季も自模つてオーラス河田+34李+41辻野 62鈴木 13！今までの日本選手権の中で唯一上下100点以内のオーラスとなった。  
最終局は辻野、鈴木に手は入つていたが李の力強い「フー」で決着。

競技麻將  
第十六回日本選手権  
優勝 李文龍

ページの都合により交流大会と決勝の詳しい記事は後日HPに掲載させていただきます(小林)

# 第6回 重陽杯

日時：2016年9月17・18日(土日)

会場：厚木健康麻將センターよつば会  
神奈川県厚木市中町3-1-17  
はまやビルB館3F-2

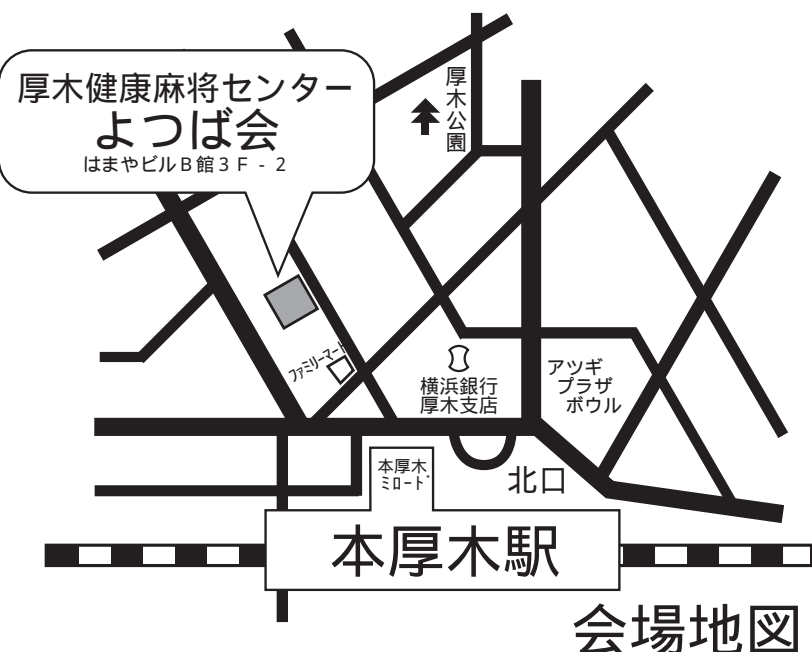
参加費：懇親会込 一人10,000円

システム：1荘戦6回戦のペア戦(4210方式)

個人戦のみ素点評価

申込：ペア戦ですのでペアで事務局アドレス info@jmsa.comまでご連絡ください。その際ペアチーム名、ペア両名の氏名、代表者連絡先をお知らせください。締め切りは9月9日です。(定員56名)個人で参加したい方もご相談ください。ペアは主催者側で決定します。

- 17日(土曜日)
    - 受付開始 16:15
    - 開会式 16:45
    - 第一回戦 17:00
    - 第二回戦 18:40
    - 懇親会 20:20
  - 18日(日曜日)
    - 集合 9:00~9:20
    - 第三回戦 9:30
    - 第四回戦 11:10
    - 昼休み
    - 第五回戦 13:10
    - 第六回戦 15:10
    - 閉会式 17:00
- (17:20終了予定)



会場地図

## 決勝戦

氏名	1回戦	2回戦	合計
優勝 李文龍	▲122	195	73
準優勝 河田	▲50	76	26
3位 鈴木	▲186	▲207	▲21
4位 辻野	▲14	▲64	▲78

### トーナメント1

通過者	氏名	1回戦	2回戦	合計
○	高坂英伸	▲67	▲24	▲91
○	鈴木芳知	59	122	181
○	小松洋樹	▲80	27	▲53
○	児島直隆	88	▲125	▲37
○	佐藤順子	▲30	▲106	▲136
○	田中龍一	59	13	72
○	大堀龍士	74	104	178
○	土屋政士	▲103	▲11	▲114
○	吉沢洋志	▲173	28	▲145
○	山口満	▲23	161	138
○	河田品	274	38	312
○	品田純	▲78	▲227	▲305
○	藤原俊晃	▲124	▲145	▲269
○	清水ゆり	225	▲19	206
○	清水主川	77	2	79
○	史大	▲108	92	▲16
○	田中文実	▲115	▲153	▲268
○	李龍	238	10	248
○	窪野秀章	▲14	11	▲3
○	辻野光哉	▲109	132	23
○	和山大樹	▲91	53	▲38
○	山崎政智	▲3	▲94	▲97
○	岩田智太	126	54	180
○	中野	▲62	▲13	▲75
○	赤塚修	▲80	▲69	▲149
○	井上義	170	97	267
○	吉田祥	0	▲257	▲257
○	佐藤和	▲90	229	139
○	内田慶	▲39	▲129	▲168
○	白石卓	74	▲76	▲2
○	津村勝	▲19	58	39
○	柴崎健	▲16	147	131

### 準決勝

通過者	氏名	1回戦	2回戦	合計
○	鈴木芳洋	95	86	181
○	清水豊	▲73	▲174	▲247
○	辻野光哉	▲27	▲29	88
○	柴崎健司	▲139	117	▲22

通過者	氏名	1回戦	2回戦	合計
○	李文龍	▲29	61	32
○	岩田智樹	▲86	▲27	▲113
○	河田涉	109	54	163
○	和田大樹	6	▲88	▲82

### トーナメント2

通過者	氏名	1回戦	2回戦	合計
○	鈴木芳洋	147	107	254
○	山口満	▲73	▲60	▲133
○	李文龍	▲72	66	▲6
○	佐藤和広	▲2	▲113	▲115
○	大堀龍一	18	▲217	▲199
○	清水豊	156	▲79	77
○	岩田智樹	▲119	315	196
○	津村勝也	▲55	▲19	▲74
○	児島直隆	▲131	▲68	▲199
○	河田涉	117	▲31	86
○	辻野光哉	45	209	254
○	岩田義浩	▲31	▲110	▲141
○	田中洋	▲93	79	▲14
○	手塚ゆり	▲151	▲129	▲280
○	和田大樹	223	▲20	203
○	柴崎健司	21	70	91

### 交流戦予選

順	氏名	計	順	氏名	計
1	三宅浩一	594	15	浦原史起	26
2	千葉雅人	507	16	宋昉婧	23
3	釘宮公人	448	17	桜井紘己	20
4	新谷秀隆	437	18	石橋悦子	5
5	小野寺克之	428	19	田邊大助	▲6
6	千葉康浩	294	20	神山清美	▲32
7	福井裕介	244	21	釘宮百香里	▲64
8	鈴木寿佳子	223	22	佐藤恭子	▲126
9	伊佐久代	166	23	斎藤敦子	▲199
10	小笠原根子	117	24	土浦佳子	▲301
11	嶋原満喜	110	回数不足	金耀東	195
12	佐々木康夫	86	回数不足	吉沢洋志	25
13	玉利祐助	73	回数不足	段昊	▲70
14	品田純	72	回数不足	佐藤成子	▲197

### 交流戦決勝

順	氏名	持越し	決勝	合計
1	新谷秀隆	218.5	163	381.5
2	千葉雅人	253.5	34	287.5
3	三宅浩一	297.0	▲82	215.0
4	釘宮公人	224.0	▲114	110.0

交流戦決勝は予選の成績を1/2にし持ち越し交流戦予選は規定回数4半荘とする

## 全国大会

順位	氏名	合計
1	内田慶修	560
2	赤塚大樹	525
3	和中山実	476
4	田中俊晃	459
5	遠藤洋志	413
6	吉沢順子	316
7	佐藤伸	290
8	高坂英	270
9	白石卓	266
10	井上義	260
11	山口政一	214
12	李文龍	190
13	手塚ゆり	176
14	山口満	171
15	中野洋	144
16	鈴木芳洋	135
17	津村勝也	135
18	吉田智樹	119
19	岩田秀章	115
20	窪田秀章	112
21	清水豊	102
22	河田涉	95
23	和田大樹	91
24	小松知樹	87
25	柴崎健司	81
26	佐藤和広	79
27	中野凌太	63
28	辻野光哉	63
29	水主川史大	46
30	品田純	44
31	土屋政士	41
32	児島直隆	31
↑予選通過↑		
33	三宅浩一	23
34	柏木拓	12
35	嶋原満喜	10
36	高見沢治幸	▲9
37	段昊	▲21
38	林大志	▲30
39	金耀東	▲49
40	岩沢和利	▲58
41	櫻井一幸	▲67
42	釘宮百香里	▲81
43	中野唯一	▲123
44	小野寺克之	▲132
45	森牧人	▲132
46	千葉康浩	▲141
47	釘宮公人	▲146
48	神山清美	▲158
49	北浦康弘	▲183
50	新谷秀隆	▲200
51	福井裕介	▲238
52	鈴木美香子	▲239
53	宋昉婧	▲241
54	斎藤敦子	▲249
55	桜井紘己	▲267
56	鈴木哲衛	▲267
57	佐藤成子	▲301
58	鈴木寿佳子	▲310
59	浦原史起	▲334
60	山口久代	▲337
61	伊佐邦昭	▲420
62	佐藤恭子	▲456
63	千葉雅人	▲524
64	佐々木康夫	▲591

ページの都合により支部紹介は休載させていただきます